



町老人クラブ連合会福祉大会



3月27日、大津町老人クラブ連合会福祉大会が生涯学習センターで開催されました。

大津町老人クラブと大津町老人クラブ連合会は、年間を通して各地区の環境整備や見守りなどで活発に活動する一方、カラオケや踊りなど楽しみの活動をしています。福祉大会は、そのような楽しみの腕を磨いてきた活動の発表の場で、年度最後の大きな催し物です。

開会式では、長年、会の運営に貢献した前会長の河本始さんと事務局の皆さん、毎日交通安全に尽力した藤森敏政さんに感謝状を贈呈しました。主催者挨拶では、日吉次男連合会長が「老人クラブの会員数減少は県の会議でも話題になります。大津町も加入率が少ない方で、60歳になった若い人に加入してもらえない現状があります。

しかし、これまでの先輩の努力を引き継ぎ、加入促進していきましょう。私たちの活動は元気な高齢者を増やし、町や地元を支えています」と挨拶。来賓代表の家主町長が「皆さんの活動に感謝と敬意を表します。大津町は挨拶する人が多い良いところですねと褒める言葉を聞きました。今後もみなさん協力して、元気に活動してください」と挨拶しました。その後、家主町長の祝い舟を皮切りに、約80もの歌や踊りの出し物で、大盛況の一日でした。

高齢者の皆さん、このような活動に参加してはどうですか。町も補助金を出してクラブの活動を支援しています。

KOHO OZU CONTENTS

広報おおづ目次

3	平成25年度 施政方針
6	平成25年度 当初予算
9	平成25年度 人事異動
12	シリーズ「再生可能エネルギー」って何だろう?⑨
14	環境プレス <small>光化学スモッグに注意! 犬の飼育場所や飼い主が変わるときは届出をしましょう</small>
15	オーエンズ広場 <small>新しい家庭的保育室「おひさま保育室」がオープンしました 美咲野小の2つの学童保育クラブがオープン</small>
16	まちの話題 <small>美咲野小学校、開校/町内小中学校卒業式・入学式/全国大会出場/東京エレクトロン九州NPO等支援事業助成金贈呈式/城東運輸倉庫株式会社寄付金贈呈式/肥後おおづ観光協会設立/化血研新配送センター落成式/有価物回収協業組合石坂グループ寄付金贈呈式/スペシャル駅伝大会/ライオンズクラブが若草児童学園の子どもたちを招待/平成24年度熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰/大津町消防団辞令交付式/大津地区交通安全推進大会</small>
22	大津町障害者相談支援センター さくら・ひまわり インフォメーション
23	<small>大津町非常勤職員募集/自動車税を納めましょう/税は必ず納期内に/空港ライナー好評運行中!/国民健康保険に加入するとき・やめるとき/6月は環境月間です!/振興総合計画等評価委員を募集します/平成25年度ふるさと総合健診の申し込みが始まります</small>
26	くらしの伝言板 <small>難聴児の補聴器の購入費を助成します/町営住宅(補充)入居者募集/身障者手帳などを持つ人は軽自動車税が減免されることがあります/平成25年度熊本県社会福祉振興基金助成事業/障害者施設利用者作品展覧会/有害鳥獣の被害防止補助金/繁殖期の野鳥保護・指導取締強化月間/行政相談委員が委嘱されました/無料法律相談会が開催されます/熊本セントラル病院 介護職員初任者研修/第27回「歯とお口の健康展」/こいのぼりは電線に触れないように/お詫びと訂正/公共工事等入札結果</small>
28	フォルツァ!! ロアッソ熊本/道の駅大津/岩戸の里/安全安心おおづまち
29	あつまれ! 大津っ子/愛のこんだて
30	出生/おくやみ/休日当番医・薬局/まちの相談/カレンダー/人口
32	クローズアップ大津人 大塚由美子さん



大津地区交通安全推進大会



熊本大津ライオンズクラブと若草児童学園の皆さん



今月の表紙

美咲野小学校入学式の一コマです。4月に開校したばかりの小学校に入学した一年生たち。入学おめでとうございませう。皆さんもぜひ美咲野小学校に遊びに来てください。



昨年7月の九州北部豪雨では、大津町においても、避難勧告を出すなど、白川、矢護川、平川流域をはじめ多くの地域において、甚大な被害が発生し、一部の地域の皆さんにおかれましては、しばらくの間、避難所生活を強いられるなど、本当に多くのご不便とご心配をおかけしました。

そのような中、地域の皆さんの迅速な判断と避難誘導で、人的被害をくい止めることができましたのも、普段の「地域防災力」のたまものであると、感謝申し上げますとともに、町の初動体制について充分反省しなければならない課題であると考えています。町としましては、災害復旧のための専門の部署を早急に設置し、広域的な被害については国、県と連携し、復旧を進めるとともに、さらに、町単独の補助制度を創設し、1日も早い、復旧、復興に向けての取り組みを進めています。

これまでの常識にとらわれることなく、大胆な見直しと新たな発想をもって住民の皆さんとともに挑戦していくことが、大津町のさらなる飛躍につながるものと考えています。

「町民主体のまちづくり」の基本理念のもと、「地域の再生」、「命を守る」、「子育て・教育の推進」を重点施策として、新しい時代に向けたまちづくりを、皆さんとともに創り上げていきます。

平成25年度 施政方針

3月定例議会で行われた 家主町長による施政方針演説をご紹介します

第一 「地域の再生」 コーソ

現在の世界経済は、長引く円高、デフレ状況が続くなか、依然として先行き不透明な状況ですが、日本経済においては、緊急経済対策がなされているところであり、今後、緩やかではありますが、景気が回復していくものと期待をしています。このような状況のなか、地域経済の活性化を図り、地域に元気を取り戻すことが喫緊の課題です。米、野菜などの農産物については、地産地消はもちろん、都市圏などへの「大津ブランド」のPRなど、ブランド確立に向けた取り組みを生産者や関係団体と一体となって推進していきます。

さらに、「まちづくり交流センター」や「ビジターセンター」を拠点として、大津特産品の開発研究や町の観光情報のPRなどを行っていきます。大津町は、熊本空港にも近く、JR肥後大津駅もあり、交通の利便性が高いという立地条件

を活かし、また、白川、上井手などの自然や宿場町としての歴史的観光資源の魅力を引き出し、総合運動公園で開催されるスポーツイベントなどと連携し、総合的な町のPRを行っていくため、観光協会を設立しました。町経済の発展のためには、地場産業の育成はもちろんのこと、新たな雇用の創出は、不可欠のものであり、新たな研究開発企業などの誘致にも、さらに取り組んでいきます。

幸いなことに大津町の人口は増加し続けていますが、将来の少子・高齢化社会を迎えるにあたり、若者の定住促進は不可欠なものであり、都市計画の用途地域の見直しについても取り組まなければならない緊急の課題であると考えています。現在、持続的で力強い農業の実現のために、地域農業者の皆さんと話し合いを進めながら、「地域農業マスタープラン（人・農地プラン）」を策定しているところであります。農家の安定的経営のための基盤づくりとして、矢護川地区圃場整備事業

都市圏へ「大津ブランド」や観光情報のPRを